

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- **第9回アジア冬季競技大会が哈爾浜で開幕 習近平国家主席が開会を宣言**：第9回アジア冬季競技大会が7日夜、黒竜江省哈爾浜（ハルビン）市で盛大に開幕した。習近平国家主席が開会式に出席し、開会を宣言した。開会式には、ブルネイのハサナル・ボルキア国王、キルギスのジャパロフ大統領とジャパロヴァ夫人、パキスタンのザルダリ大統領、タイのペートンターン首相、韓国の禹元植国会議長と申敬恵夫人など、海外からの来賓が出席した。（2/8 新華社、人民網）
- **中国2025年1月のCPIは上昇率が拡大 PPIは低下**：国家統計局が9日に発表したデータによると、今年1月には、春節（旧正月、今年は1月29日）連休などの要因の影響により、全国の消費者物価指数（CPI）は前年同期比0.5%上昇、前月比0.7%上昇となり、ともに前月より上昇幅が拡大した。一方、工業生産はオフシーズンに入り、全国の生産者物価指数（PPI）は前年同期比で2.3%低下した。（2/10 人民網）
- **中国の中小企業発展指数、1月に小幅上昇**：中国中小企業協会が11日に発表したデータによると、2025年1月の中小企業発展指数は前年12月比0.1ポイント上昇して89.0になった。サブ指数をみると、マクロ経済感受性指数は同0.4ポイント上昇、総合経営指数は同0.4ポイント上昇、市場指数は同0.3ポイント上昇、コスト指数は同0.1ポイント上昇、労働力指数は同0.1ポイント上昇、投入指数は同0.4ポイント上昇、いずれも低下から上昇に転じた。一方、資金指数と利益指数はどちらも同0.1ポイント低下。中小企業の業況水準は回復好転した。（2/13 人民網）
- **中国1月の社会融資総量増加額、同期の過去最高を更新する7兆600億元に**：中国人民銀行（中央銀行）が14日に発表したデータによると、2025年1月には社会融資総量増加額が前年同期より5,833億元（1元は約20.9円）多い7兆600億元となり、同期の過去最高を更新した。そのうち実体経済に投入された人民元建て貸出は前年同期より3,793億元多い5兆2,200億元。1月末の社会融資規模残高は前年同期比8%増の415兆2,000億元。そのうち実体経済に投入された人民元建て貸出の残高は同7.2%増の257兆7,100億元。（2/17 人民網）
- **初の10兆元突破！中国の海洋経済規模が記録更新**：中国自然資源部（省）が24日に北京で発表した「2024年中国海洋経済統計公報」によると、2024年に中国の海洋経済は力強い発展の勢いを見せた。海洋経済の規模は新たな段階へと到達し、初めて10兆元（1元は約20.7円）を突破して10兆5,438億元となった。これは前年比5.9%の増加であり、国内総生産（GDP）に占める割合は7.8%となった。（2/25 人民網）

【製造業関連・関連の政策等】

- **中国2024年の携帯電話生産台数、前年比7.8%増の16億7,000万台**：工業・情報化部（省）が6日に発表した2024年の中国の電子情報製造業の運営状況によると、同年には中国の携帯電話生産台数が

前年比 7.8%増の 16 億 7,000 万台。そのうちスマートフォンは同 8.2%増の 12 億 5,000 万台。同部によれば、2024 年は中国の電子情報製造業の生産が急成長し、輸出は持続的に回復上昇し、利益が安定的に向上し、投資は増加傾向が明らかで、産業全体の発展は良好な傾向を維持した。データを見ると、同年の中国の一定規模以上（年売上高 2,000 万元以上）の電子情報製造業の付加価値額は同 11.8%増となった。成長率は同期の工業の成長率を 6 ポイント、ハイテク製造業の成長率を 2.9 ポイント、それぞれ上回った。12 月の一定規模以上の電子情報製造業の付加価値額は同 8.7%増となった。（2/7 人民網）

- **中国 1 月の新エネルギー自動車生産販売台数が急増**：中国自動車工業協会が 17 日に発表したデータによると、2025 年 1 月には、中国の新エネルギー自動車の生産台数が前年同期比 29%増の 101 万 5,000 台、販売台数が同 29.4%増の 94 万 4,000 台。自動車の新車販売台数全体に占める新エネ車の割合は 38.9%に達した。（2/18 人民網）
- **中国 1 月の外資導入額、前月比 27.5%増の 975 億 9 千万元**：商務部（省）が 19 日に発表した最新のデータによると、今年 1 月には中国の実行ベース外資導入額（以下同）が前年同期比 13.4%減、前月比 27.5%増の 975 億 9,000 万元（1 元は約 20.7 円）だった。同期に中国で新たに設立された外資系企業は前年同期比 7.8%減の 4,229 社だった。1 月の実行ベース外資導入額を産業別で見ると、製造業は 287 億 8,000 万元、サービス業は 667 億 8,000 万元だった。ハイテク製造業は 122 億 4,000 万元で、全国の外資導入額のうち 12.5%を占め、割合は 2024 年通年に比べて 0.8 ポイント上昇した。医薬品製造業は同 68.4%増、科学技術成果実用化サービス業は同 23.9%増となった。投資元別に見ると、1 月は英国からの対中投資の成長率が最高で 324.4%に達した。次に成長率が高かったのは韓国からで 104.3%に達した。現在、世界の国境を越えた投資が低迷し不振に陥っているなどの影響により、中国の外資導入は課題に直面している。既存の外資を安定させつつ新たな外資を拡大し、一流のビジネス環境を作り出すことが、今年 of 中国のビジネス分野における重要な課題だ。（2/20 人民網）
- **今年の春運が今月 22 日に終了 40 日間で延べ 90 億人以上が地域跨ぎで移動**：40 日間にわたる「春運（春節期間の帰省・U ターンラッシュに伴う特別輸送体制）」が今月 22 日に終了した。1 月 14 日からの 40 日間で、延べ 90 億 2,500 万人が地域跨ぎで移動したと見られている。その内訳は、鉄道が延べ 5 億 1,362 万 7,000 人、道路が延べ 83 億 9,027 万人（高速道路、及び一般国道・省道を利用した有料交通機関以外の小型車の利用者数は延べ 71 億 6,949 万人、有料交通機関の利用者数は延べ 12 億 2,078 万人）、水路が延べ 3,115 万 4,000 人、民間航空が延べ 9,018 万 9,700 人だった。（2/25 工人日報、人民網）

【トピックス】

- 1、**冰雪産業を 1 兆元規模の大市場へ**：国務院弁公庁は 2024 年 11 月、「冰雪スポーツの質の高い発展による冰雪経済の活力喚起に関する若干の意見」を通達し、2027 年までに中国の冰雪経済の総規模を 1 兆 2,000 億元（1 元は約 21.2 円）、2030 年までに 1 兆 5,000 億元にまで拡大する方針を打ち出した。近年、各地で技術革新が奨励されており、発熱機能付きスノーシューズやフルカーボン製スキー板といった新製品が登場している。また、大学や研究機関、企業が専門の研究室を設立し、冰雪関連の研究開発に取り組んでいる。これらは中国の冰雪装備製造業や競技大会運営における弱点や空白に狙いを定め、国産の高性能な装備システムや製品の独自開発率を高めることを目的としている。冰雪消費ブームの背景には、多様な発展を遂げる冰雪装備産業クラスター・チェーンの形成がある。各地が現地の状況に応じて産業配置を整備し、産業構造を最適化することで、冰雪経済が

持続的に力強い発展の原動力を持つことが期待されている。(2/5 人民網)

- 2、「DeepSeek」が史上最速で DAU3,000 万人を突破したアプリに：中国企業が開発したオープンソースの大規模言語モデル「DeepSeek」は、世界中のネット上を席卷し、社会現象を巻き起こすアプリとなっている。中国のデータ研究機関「QuestMobile」の2月8日のデータによると、DeepSeekのDAU（1日あたりのアクティブユーザー数）が1月28日に初めて字節跳動（バイトダンス）の大規模言語モデル「豆包」を超え、その後、2月1日に3,000万人の大台を突破。史上最速でその大台を突破したアプリとなった。(2/12 人民網)
- 3、「哪吒2」が世界アニメ映画の興行収入1位に：中国の神話を元にした大ヒットアニメ映画「哪吒」シリーズの最新作となる「哪吒之魔童鬧海（ナーザの魔童大暴れ）」は、このほど興行収入（先行上映と前売券を含む）が累計123億元（1元は約20.9円）を超え、「インサイド・ヘッド2」を抜いて世界のアニメ映画の興行収入ランキングで1位になった。これはアジア史上初の1位を獲得した「非ハリウッド制作映画」となる。「哪吒2」は公開以来、興行収入の「神話」をたびたび打ち立て、中国・アジア映画史上初の興行収入が100億元を超えた作品になり、単一映画市場における興行収入の記録を更新し、世界映画歴代興行収入ベスト10入りを果たした。(2/19 人民網)
- 4、中国のグリーンボンド発行規模、24年は6,814億元：中国銀行間債券市場の監督機関、中国銀行間市場交易商協会はこのほど、2024年に国内で発行された各種グリーンボンド（環境債）は合計6,814億3,300万元、預託金残高は前年比5.6%増の2兆900億元だったと発表した。種類別構成は全体的に安定しており、金融機関が発行するグリーン金融債の割合は引き続き上昇し、企業が発行するグリーン社債は小幅に低下した。グリーン社債の年間の現物取引額は6,600億元に迫り、売買回転率の平均は59.7%で、市場の勢いは前年からやや落ち込んだ。(2/19 新華社)

【全国両会が近く開催 重要な節目として国内外が注目】

今年の全国両会（全国人民代表大会・中国人民政治協商會議全國委員會）が間もなく開催される。今年には第14次五カ年計画（2021～25年）の最終年であり、第15次五カ年計画の構想を描く年でもある。この重要な節目において、今年の全国両会は外国にとって、内政と外交のグランドデザインから国家経済と国民生活の方針に至るまで、中国の発展の青写真を見る重要な窓となるだろう。(2/25 新華社、人民網)

■経済発展の方向性

外的圧力の高まり、国内課題の増加という複雑で厳しい情勢を前に、今年の政府活動報告でどのような発展目標が示されるかに外部は注目している。特にGDP成長率、CPI上昇率、財政赤字といった指標の設定や新興産業の配置は、中国経済の質の高い発展の見通しに直接かかわるものとなる。

昨年末の中央経済政策会議では、一連の目標と任務が打ち出された。いかにして「ビジョン」を「実行可能な計画」に変えるかが、全国両会の重要な注目点だ。また、第14次五カ年計画が今年終了するため、次の五カ年計画に関する議論も集中的に行われる。国家発展の青写真である五カ年計画が次期五カ年計画へとシフトするこのタイミングにおいて、人々は今年の両会に対して経済政策の面でより強いメッセージの発信を期待している。

■中国と世界の深い交流

過去1年間に中国はビザ免除措置の対象国を拡大し続け、外国人の出入国者数は前年比82.9%増とな

った。ビザの利便性向上政策は、中国と外国の人々の距離を縮めるだけでなく、経済・貿易や人的・文化的交流にも好影響を与えている。

今後、中国がどのように外国との深い相互交流を続けるかに、国内外の世論は注目している。上層部交流から民間交流まで、経済・貿易協力から人的・文化的交流まで、政府活動報告や全国两会期間での権威ある回答を通じて、高水準の対外開放の拡大や中国と外国との交流促進にかかわる一連の重要な議題について、対応や説明が行われることが期待される。

【イベント】

【出展募集中】 FBC 深セン 2025 in ITES 工業展 2025年3月26-29日 深セン国際会展中心

【出展募集中】 FBC 上海 2025 in NEPCON 電子展 2025年4月22-24日 上海世博展覽館

* (公財) 大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室